

2019 年度 研究所事業報告書

研究所名	歴史都市防災研究所
------	-----------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2019 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうできるだけわかりやすく記述してください。なお、2019 年度に採択を受けた研究所重点プロジェクトの実績報告は、書式 B に記述のうえ提出してください。

文化遺産・歴史都市の保全活用と災害安全の両分野をつなぐ総合的な研究領域である文化遺産防災学を創発し、これに関する研究・教育・社会連携、さらには情報基盤の拠点形成を目標に据えた活動を、継続的に実施した。以下、具体的な成果について、活動項目毎に要約する。

- ① **歴史文化都市の時空間データ基盤研究部会**: 歴史文化都市の将来の災害リスクを明らかにし、災害時の対応や復興時の状況を歴史的背景とともに具体的に評価していくために、古文書や絵図や修理報告書をはじめ、京都などの歴史都市や火災で焼失した首里城などの復元遺産を含む文化遺産を対象にした、定型的・非定型的両面の大規模な地理的時空間情報の取得・解析を進展させ、多様な歴史災害都市研究ならびに歴史都市の将来に関するジオデザインに活用するための情報基盤整備ならびに地理空間評価の手法開発を継続した。
- ② **歴史文化都市の防災技術研究部会**: 「歴史・文化・意匠的価値」と「防災性能」を兼ね備えた歴史文化都市・地域の防災技術を確立すること目的に、歴史文化都市空間の歴史的・文化的価値を保全する防災技術を向上させるとともに、(1) 伝統構法木造建築物の構造力学特性の解明、(2) 歴史的建造物の耐震補強・改修技術の開発、(3) 歴史文化都市の防火システムと機器の開発、(4) 歴史文化地域の地盤・水利環境を踏まえた防災技術の開発に関する研究を他の研究部会とも連携して引き続き行った。
- ③ **歴史文化都市の防災デザイン研究部会**: 上記①、②の研究成果を統合し、実際に生きた歴史文化都市に実装するためには、受け継がれた地域環境とコミュニティ社会の特性とニーズに合った、「環境的・文化的に重要な空間を保全しつつ開発する」ための計画と政策が不可欠となる。地域固有の物理的・社会的・歴史的特性をデータ基盤により把握し、その特性分析により未来の減災の知恵と呼べる技術を抽出し、これを将来の地域環境と地域社会の時間軸上に実践的に位置づけようとする防災デザインの取組みを行ない、一連の研究プロセスの総合化を担った。2019 年度には特に出石伝建地区でワークショップを実施し、地区防災計画づくりの準備に取り組んだ。
- ④ **国際展開・社会連携 研究支援プログラム**: 研究所の柱となる年次事業の一つ、第 14 回 UNESCO Chair 国際研修では、過去最大の 280 名の応募者より研修者 12 名を選出し実施した。2019 年度には「動産・不動産文化財の災害からの統合的な保護を目指して」にして、海外からの講師と国内講師陣と協力したジョイントワークショップを展開することができた。2019 年度には学内機関である国際平和ミュージアムの協力の元、博物館施設の災害危険性評価の演習プログラムを開発したことや、旧堂本印象邸での災害直後の緊急調査演習を実施できたことから、従前より一層学内リソースの利活用を重視したプログラムとして実施することができた。世界的なニーズに応える研究成果の国際社会への還元と、今後の国際展開への可能性を確認することができた。

研究所のその他主催事業等: 柱となる年次事業として「第 13 回歴史都市防災シンポジウム」(7/13)を開催し、34 件の研究発表と活発な討議が行われ、国内外から約 110 名の参加があった。「立命館土曜講座」では「地図に描かれた近代京都における災害への対応」をテーマに公開講演会として市民向け講義を提供した。定例研究会も、年度内に 6 回開催し、各研究部会の若手研究者から成果報告がなされ活発な研究交流を行なった。他にも情報発信として学術論文集「歴史都市防災論文集 Vol.13」や「京都歴史災害研究 第 21 号」を刊行した。地域社会への貢献を目指した事業である「第 13 回地域の安全安心マップコンテスト」では 47 件の応募があり、幅広い地域からの作品が寄せられ、着実に社会的な認知を広めつつ質の高い作品を集めることができた。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2020年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長	大窪 健之	理工学部環境都市工学科	教授
運営委員	鈴木 祥之	衣笠総合研究機構	教授
	青柳 憲昌	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	小川 圭一	理工学部環境都市工学科	教授
	鐘ヶ江 秀彦	政策科学部政策科学科	教授
	金 度源	理工学部環境都市工学科	准教授
	武田 史朗	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	豊田 祐輔	政策科学部政策科学科	准教授
	花岡 和聖	文学部地域研究学域	准教授
	深川 良一	理工学部	特命教授
	藤本 将光	理工学部環境都市工学科	准教授
	宗本 晋作	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	村中 亮夫	文学部地域研究学域	准教授
	矢野 桂司	文学部地域研究学域	教授
	河角 直美	文学部地域研究学域	准教授
	吉富 信太	理工学部建築都市デザイン学科	教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	泉 知論	理工学部電気電子工学科	教授
	伊津野 和行	理工学部環境都市工学科	教授
	宇佐美 智之	文学部地域研究学域	特任助教
	岡井 有佳	理工学部環境都市工学科	教授
	小野 聡	政策科学部政策科学科	助教
	片平 博文	文学部地域研究学域	特任教授
	川合 誠	情報理工学部情報理工学科	特任教授
	川崎 佑磨	理工学部環境都市工学科	准教授
	神田 孝治	文学部地域研究学域	教授
	小林 泰三	理工学部環境都市工学科	教授
	桜井 政成	政策科学部政策科学科	教授
	佐藤 弘隆	文学部地域研究学域	特任助教
	里深 好文	理工学部環境都市工学科	教授
	高橋 学	文学部地域研究学域	教授
	塚口 博司	理工学部環境都市工学科	特任教授
	仲谷 善雄	情報理工学部情報理工学科	教授
	狭間 恵三子	衣笠総合研究機構	教授
	平尾 和洋	理工学部建築都市デザイン学科	教授

		福水 洋平	理工学部電気電子工学科	准教授	
		福山 智子	理工学部建築都市デザイン学科	准教授	
		藤井 健史	理工学部建築都市デザイン学科	助教	
		益田 兼房	衣笠総合研究機構	教授	
		持田 泰秀	理工学部建築都市デザイン学科	教授	
		山内 寛紀	理工学部電気電子工学科	特任教授	
		山崎 有恒	文学部日本史研究学域	教授	
		山田 悟史	理工学部建築都市デザイン学科	講師	
		山本 理佳	文学部地域研究学域	准教授	
学内の若手研究者	① 専門研究員・研究員	石田 優子	衣笠総合研究機構	専門研究員	
		酒井 宏平	O I C総合研究機構	専門研究員	
		大橋 弘明	衣笠総合研究機構	専門研究員	
	② リサーチアシスタント				
	③ 大学院生		郭 凱泓	文学研究科	博士課程後期課程
			常木 佳奈	文学研究科	博士課程後期課程
			前田 一馬	文学研究科	博士課程後期課程
			北本 英里子	理工学研究科	博士課程後期課程
			高山 翔揮	理工学研究科	博士課程後期課程
			清水 泰有	政策科学研究科	博士課程後期課程
			KARTIKA Puspita Sari	政策科学研究科	博士課程後期課程
			RONI Armis	政策科学研究科	博士課程後期課程
			留野 僚也	政策科学研究科	博士課程後期課程
			板谷 侑生	文学研究科	博士課程前期課程
			名久井 大輝	理工学研究科	博士課程前期課程
			部谷 遼平	理工学研究科	博士課程前期課程
			和田 康志	理工学研究科	博士課程前期課程
			中島 昌暉	理工学研究科	博士課程前期課程
			大野 耕太郎	理工学研究科	博士課程前期課程
			横田 芙美子	理工学研究科	博士課程前期課程
			ZHAO Yichen	理工学研究科	博士課程前期課程
			吉田 成宏	理工学研究科	博士課程前期課程
			LI YIHAN(李 一晗)	理工学研究科	博士課程前期課程
			清水 弘樹	理工学研究科	博士課程前期課程
			砂田 陸	理工学研究科	博士課程前期課程
			中林 秀光	理工学研究科	博士課程前期課程
			福永 靖史	理工学研究科	博士課程前期課程
			山口 奨	理工学研究科	博士課程前期課程
	小川 和馬	理工学研究科	博士課程前期課程		
	櫻井 琢人	理工学研究科	博士課程前期課程		
	白根 史崇	理工学研究科	博士課程前期課程		
	工藤 裕也	理工学研究科	博士課程前期課程		

	高田 厚志	理工学研究科	博士課程前期課程
	唐 一鴻	理工学研究科	博士課程前期課程
	堺 拓実	理工学研究科	博士課程前期課程
	松井 優貴	理工学研究科	博士課程前期課程
	大西 凌太	理工学研究科	博士課程前期課程
	松田 麗央	理工学研究科	博士課程前期課程
	津田 航志	理工学研究科	博士課程前期課程
	毛利 友紀野	理工学研究科	博士課程前期課程
	安田 茉友子	理工学研究科	博士課程前期課程
	HUANG Kai	理工学研究科	博士課程前期課程
	伊藤 芳治	理工学研究科	博士課程前期課程
	大谷 理個	理工学研究科	博士課程前期課程
	深井 麻理奈	理工学研究科	博士課程前期課程
	田中 大輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	安原 大貴	理工学研究科	博士課程前期課程
	川端 竜平	理工学研究科	博士課程前期課程
	小林 稜治	理工学研究科	博士課程前期課程
	齋藤 翔太	理工学研究科	博士課程前期課程
	内貴 美侑	理工学研究科	博士課程前期課程
	田中 勇氣	理工学研究科	博士課程前期課程
	坂本 良祐	理工学研究科	博士課程前期課程
	舘野 祐一郎	理工学研究科	博士課程前期課程
	山際 大貴	理工学研究科	博士課程前期課程
	石井 拓弥	理工学研究科	博士課程前期課程
	大橋 克矢	理工学研究科	博士課程前期課程
	倉田 紘平	理工学研究科	博士課程前期課程
	山本 歩	理工学研究科	博士課程前期課程
	山本 和輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	QIN Xin	理工学研究科	博士課程前期課程
	五井 渉太	理工学研究科	博士課程前期課程
	竹村 庄平	理工学研究科	博士課程前期課程
	高瀬 蔵	理工学研究科	博士課程前期課程
	星山 博紀	理工学研究科	博士課程前期課程
	嶋田 陽大	理工学研究科	博士課程前期課程
	福島 研人	理工学研究科	博士課程前期課程
	伊原 大貴	理工学研究科	博士課程前期課程
	飯村 知寛	理工学研究科	博士課程前期課程
	北 真都香	理工学研究科	博士課程前期課程
	北川 貴大	理工学研究科	博士課程前期課程
	深井 亮汰	理工学研究科	博士課程前期課程
④ 日本学術振興会特別 研究員(PD・RPD)			

その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究 生、研修生等)	今村 聡	衣笠総合研究機構	補助研究員
	金 侖美	総合科学技術研究機構	補助研究員
	白石 陽子	衣笠総合研究機構	補助研究員
客員協力研究員	土岐 憲三	衣笠総合研究機構	特別研究フェロー
	樋本 圭佑	国土交通省	主任研究官
	高橋 暁	ユネスコ太平洋州事務所	文化担当官
	福山 大典	株式会社アイエス工業所	開発部長
	田中 哮義	(京都大学 名誉教授)	
	森 清顕	清水寺	執事補
	SHAKYA Lata	ハウジングアンドコミュニティ財団	特任研究員
	古川 愛子	京都大学大学院 工学研究科 都 市社会工学専攻	准教授
	高松 正彦	一般財団法人日本緑化センター	緑化事業部長
	森下 雄治	森下漆器株式会社	代表取締役
	大岡 優	都城工業高等専門学校 建築学科	准教授
	林 倫子	関西大学 環境都市工学部都市シ ステム工学科	准教授
	Wesley Webb CHEEK	Tulane University	Doctoral Fellow
	Rohit JIGYASU	ICCROM Regional Centre for the Study of the Preservation and Restoration of Cultural Property (ICCROM), Regional Office in Sharjah, UAE	Programme Officer
	棚橋 秀光	TASS デザイン研究室	
	佐藤 英佑	株式会社佐藤建築設計	取締役
	山崎 文雄	千葉大学大学院工学研究科	教授
	Chaweewan DENPAIBOON	チュラロンコン大学 建築学部	准教授
	石橋 健一	名古屋産業大学	教授
	梶 秀樹	一般財団法人地域防災支援協会 ／筑波大学	理事／名誉教授
	神田 隆男	丸軒企業有限公司	京都支店長
	大槻 知史	高知大学 総合科学系地域協働教 育学部門	准教授
	城月 雅大	名古屋外国語大学 現代国際学部 国際教養学科	准教授
	和泉 潤	(衣笠総合研究機構)	客員研究員)
	Paola RIZZI	ラクイラ大学 建築学部	教授
	宮崎 洋司	株式会社プラス社会計画センター	所長
丸岡 稔典	名古屋産業大学	特任講師	

	村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所	教授
	崔 明姫	名古屋工業大学 おもひ領域	非常勤研究員
	石原 凌河	龍谷大学政策学部	講師
	冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫	理事長
	青木 和人	あおき地理情報システム研究所	代表
	矢尾田 清幸	沖縄県土地改良事業団体連合会 総務企画支援	班長
	高木 良枝	京都市指定文化財長江家住宅	学芸員
	桐村 喬	皇學館大学 文学部	助教
	高橋 彰	関西学院大学 総合政策学部	契約助手
	山本 大策	コルゲート大学 地理学科 アジア 研究プログラム	准教授
	山本 由美子	コルゲート大学 地理学科 地理学 科所属	研究員
	梶山 真樹	(公財)京都市景観・まちづくりセン ター 事務局	次長
	寺床 幸雄	長崎県立大学 地域創造学部公共 政策学科	講師
	中谷 友樹	東北大学大学院環境科学研究科	教授
	安本 晋也	中部大学中部高等学術研究所	講師
	諏訪 浩	東京大学 空間情報科学研究セン ター	客員研究員
	川道 美枝子	関西野生生物研究所	代表
	岡田 篤正	京都大学	名誉教授
	北原 糸子	(衣笠総合研究機構)	客員研究員
	植村 善博	佛教大学	名誉教授
	大邑 潤三	佛教大学 歴史学部	非常勤講師
	板谷 直子	京都市都市計画審議会・京都市美 観風致審議会・京都市建築審査 会・京都市元離宮二条城保存整備 委員会	各委員
		国立大学法人奈良女子大学	非常勤講師
	谷端 郷	宮崎産業経営大学 法学部	講師
	谷崎 友紀	甲南大学 文学部	非常勤講師
	米島 万有子	熊本大学大学院 人文社会科学研 究部	准教授
	星野 安治	国立文化財機構 奈良文化財研究 所年代学研究室	室長
その他の学外者			

Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2020年3月31日時点)
また、書式Bの研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	青柳 憲昌	『今庄宿 —伝統的建造物群保存対策調査報告書—』、2019年3月	共著	2019年3月	南越前町観光まちづくり課発行	大場修・南竹磨・松田法子・福井宇洋・多米淑人・今出瑞穂・高嶋猛・坪田叡伴、島田敏男	89-91,103-105,124-126,175-180,224-236,239-245
2	岡井 有佳	地中海を旅する62章	分担執筆	2019年2月	明石書店		143-147
3	小野 聡	Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning (Translational Systems Sciences)	共著	2019年9月	Springer	Michinori Kimura	408-417
4	小野 聡	A Study on Effect of “Information Mismatch” Simulation on Victims’ Quality of Life and Sense of Place in the Post-Disaster Period	共著	2019年9月	Springer	Hiroari SHIMIZU, Ryoya TOMENO, Quirino CROSTA, Micaela MERUCRI, Hidehiko KANEGAE, Paola RIZZI	287-298
5	鐘ヶ江 秀彦	A Study on Effect of “Information Mismatch” Simulation on Victims’ Quality of Life and Sense of Place in the Post-Disaster Period, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwathana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “ Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019年11月	Springer	Hiroari SHIMIZU, Ryoya TOMENO, Quirino CROSTA, Micaela MERUCRI, Satoru ONO and Paola RIZZI	287-298
6	鐘ヶ江 秀彦	A Study on Gaming of Participatory Evacuation Planning in Tourist Area using Agent Simulation, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwathana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “ Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019年11月	Springer	Sakai Kohei, Shimizu Hiroari, and Toyoda Yusuke	276-286
7	鐘ヶ江 秀彦	Gaming Simulation as a Tool of Problem-based Learning for University Disaster Education, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwathana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019年11月	Springer	Toyoda Yusuke	237-245
8	鐘ヶ江 秀彦	Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning	共著	2019年11月	Springer	Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Dumrongrojwathana Pongchai, Chaisanit	

						Settachai and Rizzi Paola	
9	河角 直美	『文化情報学事典』	分担執筆	2019年12月	勉誠出版	村上征勝監修	371-377、667-671
10	河角 直美	『地図で楽しむ京都の近代』	分担執筆	2019年2月	風媒社	上杉和央・加藤政洋編著	22-29,30-35,36-45,100-105
11	神田 孝治	現代観光学	共編著	2019年1月	新曜社	遠藤英樹・橋本和也・神田孝治編著	24-31, 32-41, 51-59, 60-62, 70-76, 210-217, 264-269
12	金 度源	Memory of 2015 Earthquake	共著	2020年1月	Subhash Printing Press	サキヤ・ラタ、大窪健之	
13	桜井 政成	Globalizing Welfare: An Evolving Asian-european Dialogue	共著	2019年9月	Edward Elgar Pub	Edited by Stein Kuhnle, Per Selle, Sven E. O. Hort Contributors: J.G. Andersen, H.K. Anheier, R.K.H Chan, L. Chen, R. Ervik, S. Hort, M. Kamikubo, P. Kettunen, N. Kildal, S. Kuhnle, H.-j. Kwon, M. Laperrière, S. Leibfried, T.S. Lindén, Å. Lundqvist, K. Martens, C. Offe, A.S. Orloff, Y. Otsuka, Y. Pan, K. Petersen, Y. Ren, M. Sakurai, U. Schimank, P. Selle, K. Strømsnes, Z. Wang, N. Zakharov	125-141
14	佐藤 弘隆	祇園祭の山鉾行事を支える現代京都の都市機能—祭礼とまちづくりの関係を問い直す—(山田浩之・赤崎盛久編著『京都から考える都市文化政策とまちづくり—伝統と革命の共存—』)	分担執筆	2019年11月	ミネルヴァ書房	単著	72-92
15	里深 好文	水理公式集 [2018年版]	分担執筆	2019年3月	丸善出版株	土木学会 水工学委員会 水理公式集編集小委員会	255-260,265-266
16	鈴木 祥之	旧加悦町役場庁舎耐震改修検討委員会報告書 —旧加悦町役場庁舎の利活用と改修に関する調査研究報告書—	編著	2019年3月		旧加悦町役場庁舎耐震改修検討委員会	全頁 420
17	鈴木 祥之	伝統的構法のための木造耐震設計法 —石場建てを含む木造建築物の耐震設計・耐震補強マニュアル—	編著	2019年6月	学芸出版社	伝統的構法木造建築物設計マニュアル編集委員会	全頁 350
18	鈴木 祥之	伝統的木造建築物の構造解析とこれからの木造建築の展望<新たな耐震計算法の解説を中心として>	共著	2019年6月	特定非営利活動法人 伝統木構造の会	長瀬 正	全頁 51
19	鈴木 祥之	「伝統的構法のための木造耐震設計法」出版報告講演会 (京都)	共著	2019年8月	特定非営利活動法人 列島ネットワーク・伝統的構法木造建築物設計マニュアル編集委員会	齋藤幸雄、長瀬 正、寺門宏之、中治弘行、後藤正美、佐藤英祐、向坊恭介	全頁 54
20	豊田 祐輔	A Study on Gaming of Participatory Evacuation Planning in Tourist Area	共著	2019年	Springer Science	Sakai Kohei, Shimizu Hiroari and	247-256

		using Agent Simulation, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwattana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “ Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”			Business Media	Kanegae Hidehiko	
21	豊田 祐輔	Gaming Simulation as a Tool of Problem-based Learning for University Disaster Education, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwattana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “ Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019年	Springer, Singapore	Kanegae Hidehiko	237-245
22	豊田 祐輔	「コミュニティ防災ゲーミング:地震編」でコミュニティ防災を体験しよう! 「ゲームの構造、役割、ルールを考えてゲーミングをつくる!」近藤敦、豊田祐輔、宮脇昇、吉永潤編『大学の学びを変えるゲーミング』	共編著	2020年	晃洋書房	単著	40-62, 169-180, 206-20
23	花岡 和聖	増減 (石川義孝編『地図でみる日本の外国人 改訂版』)	分担執筆	2019年1月	ナカニシヤ出版		6-7
24	持田 泰秀	新素材で建設産業を立て直す～新材料(CFRTP)の挑戦を通して～	分担執筆	2019年10月	日本建築協会		12-15
25	矢野 桂司	文化情報辞典	編集	2019年	勉誠出版	村上征勝 監修/金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 編	
26	矢野 桂司	Urban Abandonment and Housing Vacancies in Japanese Local Cities: A Case of Kyo-machiya, Traditional Wooden Town Houses	分担執筆	2019年	Kubo, Tomoko, Yui, Yoshimichi (Eds.) The Rise in Vacant Housing in Post-growth Japan Housing Market, Urban Policy, and Revitalizing Aging Cities, Springer	Keiji Yano	111-122
27	矢野 桂司	The Shape of Japan: Backgrounds, Materials and Methods	共著	2019年	Editors: Nakaya, Tomoki, Ito, Yuri (Eds.) The Atlas of Health Inequalities in Japan,	Tomoki Nakaya, Keisuke Fukui, Yuri Ito, Keiji Yano, Yuzuru Isoda, and Naoki Kondo, Springer	9-28
28	山崎 有恒	人物からたどる近代日中関係史	共著	2019年6月	国書刊行会	池田 維 他編	pp255-271
29	酒井 宏平	A Study on Gaming of Participatory Evacuation Planning in Tourist Area using Agent Simulation, in Hamada	共著	2019年11月	Springer Science Business	Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	276-286

		Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwattana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “ Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”			Media		
--	--	--	--	--	-------	--	--

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	青柳 憲昌	「旧北国街道今庄宿における近代町家の建築的特徴」	共著	2019年5月	『民俗建築』	坪田叡伴・大場修	pp.8-17	有
2	青柳 憲昌	「武田五一設計の法隆寺鶴文庫および宝蔵の建築史的価値」	単著	2019年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』		pp.573-576	有
3	青柳 憲昌	「福井県旧今庄宿における近代町家の特徴と島崎文四郎の仕事」	共著	2019年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』	坪田叡伴・大場修	pp.473-476	有
4	青柳 憲昌	「1950年代の建築関係誌に見る鉄筋コンクリート造による伝統表現手法」	共著	2019年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』	菅谷英之	pp.577-580	有
5	青柳 憲昌	「滋賀県草津市・鞭崎神社本殿の建築的特徴」	共著	2019年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	森本慶介・村田典彦・星野安治	751-752	有
6	青柳 憲昌	「長江家住宅北棟の復元的考察」	その他	2019年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	吉田成宏	851-852	有
7	青柳憲昌	「旧今庄宿大黒屋(主屋)の建築史的価値」	共著	2019年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	坪田叡伴・大場修	857-856	有
8	大窪 健之	複合連結式天守の国宝松本城における実践的な避難誘導方法に関する研究	共著	2019年2月	日本建築学会計画系論文集(84巻756号)	小西慶哉, 金度源	507-515	有
9	大窪 健之	Utilization of Historical Courtyards as Evacuation Sites during Gorkha Earthquake 2015 - At Patan old town, Kathmandu Valley, World Heritage Site in Nepal	共著	2019年6月	XVII INTERNATIONAL FORUM ' LE VIE DEI MERCANTI ', WORLD HERITAGE and LEGACY	Sanshiro TAKASUGI, Lata SHAKYA		有
10	大窪 健之	松本城と周辺地域の防災拠点としての能力評価に関する研究 - 帰宅困難者への支援を想定して -	共著	2019年7月	歴史都市防災論文 vol.13	植本幹大, 金度源	123-130	有
11	大窪 健之	伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究 - 世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として -	共著	2019年7月	歴史都市防災論文 vol.13	小川和馬, サキヤラタ, 金度源	107-114	有
12	大窪 健之	ホース延長が可能な改良型市民消火栓の配置計画に関する基礎研究 ~ 模擬初期消火活動の実証実験	共著	2019年7月	歴史都市防災論文 vol.13	金度源, 大和田智彦, 林倫子	131-138	有

		と京都市清水周辺地域での改善配置計画を目指して～						
13	大窪 健之	地域コミュニティにおける水害伝承の実態—滋賀県甲賀市信楽町勅旨区を対象として—	共著	2019年7月	歴史都市防災論文 vol.13	林倫子, 昌子知正, 金度源	193-200	有
14	大窪 健之	Dealing with multiple hazards and threats on cultural heritage sites: an assessment of 80 case studies	共著	2019年6月	Disaster Prevention and Management, Emerald Publishing Limited	Lee Boshier, Dowon Kim, Ksenia Chmutina, Rohit Jigyasu	DOI 10.1108/DPM-08-2018-0245	有
15	大窪 健之	歴史地区におけるコミュニティの防災意識と地域特性に関する研究—京都市・上賀茂重要伝統的建造物群保存地区を対象として—	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第59号・計画系	仲田直矢・金度源	5053	有
16	大窪 健之	温泉街の防災資源を活かした帰宅困難者対策—道後温泉周辺地域を対象として—	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第59号・計画系	白根史崇・金度源	7018	有
17	大窪 健之	伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究—世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として—	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第59号・計画系	小川和馬・サキヤラタ・金度源	7024	有
18	泉 知論	Example-based Face-image Restriction for Block-noise Reduction	共著	2019年3月	Journal of Image and Graphics, vol.7, no.1, pp.9-17, DOI 10.18178/joig.7.1.9-17	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu and Hironori Yamauchi,		有
19	泉 知論	獣害対策のための監視カメラ向けアライグマ検出器の構築と評価	共著	2019年5月	画像電子学会誌, vol.48, no.2, pp.237-247	初田慎弥, 大野真史, 孟林		有
20	宇佐美 智之	ソグドの都市: カフイル・カラ遺跡の調査から	単著	2019年8月	考古学ジャーナル(730巻)		36-38	有
21	宇佐美 智之	中央アジア・オアシス地帯における都市の発達過程と空間構造に関する調査研究—サマルカンドおよびその周辺域を中心として—	単著	2019年11月	高梨学術奨励基金年報: 平成30年度助成研究成果報告		31-38	有
22	岡井 有佳	北海道奥尻島における津波と居住の歴史	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	葉袋美奈子		有
23	岡井 有佳	無電柱化の実施優先度検討における路線評価に関する研究	共著	2019年9月	2019年度大会学術講演梗概集 F-1	小原雅人・馬場美智子	201-202	有
24	岡井 有佳	水害リスクを考慮した居住誘導区域の設定に関する研究—広島県三原市の立地適正化計画に着目して	共著	2019年9月	2019年度大会学術講演梗概集 F-1	大橋克矢・馬場美智子	723-724	有
25	小川 圭一	CVM を用いた金沢市内の文化遺産の防災対策に対する支払意思額に関する分析	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集 Vol.13	谷本雄太郎	147-154	有

26	小野 聡	トピックモデルを用いた住民の居住継続意図と地域への愛着を規定する要因抽出—高島市朽木地区におけるアンケート調査を通して—	共著	2019年3月	京都歴史都市災害研究(20巻)	木村道徳・上須道徳	13-21	
27	小野 聡	環境情報を踏まえた参加型計画プロセスの設計—既存研究と高島市朽木地区における実践を踏まえた考察—	共著	2019年3月	環境科学会誌(32巻2号)	木村道徳	65-74	
28	鐘ヶ江 秀彦	Integration Process of Indigenous and Scientific Knowledge for Disaster Risk Reduction in Mentawai Island	共著	2019年7月	International Journal of Disaster Management (2巻1号)	Zulfadrim, Toyoda Yusuke	1-12	
29	鐘ヶ江 秀彦	Mitigating Simultaneous Returning Home after Large-Scale Earthquakes: Changing Tourists' Intentions to Stay through Public Support	共著	2019年12月	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science(361巻)	Kohei Sakai, Yusuke Toyoda	012004	
30	川崎 佑磨	底泥を使用したポーラスコンクリートの閉鎖性環境下における水質への影響に関する研究	共著	2019年7月	コンクリート工学年次論文集(41巻1号)	下原怜也、佐藤圭輔、山田悠二	1475-1780	
31	川崎 佑磨	RI計器の線源棒直下の空間がポーラスコンクリートの空隙率推定値に与える影響	共著	2019年7月	コンクリート工学年次論文集(41巻1号)	白川裕太、王子哲、山田悠二	1457-1462	
32	川崎 佑磨	銅スラグ細骨材とマンガンスラグ粗骨材およびフライアッシュを使用した重量コンクリートのフレッシュ性状および耐摩耗性の検討	共著	2019年7月	コンクリート工学年次論文集(41巻1号)	戸松功祐、山田悠二、横井克則	1547-1552	
33	川崎 佑磨	免震ゴム支承の内部損傷検知に関する数値解析的研究	共著	2019年9月	日本地震工学会論文集(19巻5号)	能勢侑希、伊津野和行	283-293	
34	河角 直美	近代京都における土地利用と地形環境	単著	2019年	環太平洋文明研究(3号)		91-101	
35	神田 孝治	『Pokémon GO』が生じさせる移動と観光振興	単著	2019年3月	立命館大学人文科学研究紀要(119号)		119-147	
36	金 度源	複合連結式天守の国宝松本城における実践的な避難誘導方法に関する研究	共著	2019年2月	日本建築学会計画系論文集(84巻756号)	小西慶哉、大窪健之	507-515	
37	金 度源	Consideration of issues and solutions related to the coexistence of cultural properties and the real life of the neighborhood	共著	2019年6月	Disaster Prevention and Management(29巻1号)	Yuko Ishida, Tatsuo Konegawa and Ryoichi Fukagawa	86-108	
38	金 度源	歴史地区におけるコミュニティの防災意	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集(59号)	仲田直矢、大窪健之	5053	

		識と地域特性に関する研究～京都市・上賀茂重要伝統的建造物群保存地区を対象として～						
39	金 度源	温泉街の防災資源を活かした帰宅困難者対策～道後温泉周辺地域を対象として～	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集(59号)	白根史崇、大窪健之	7018	
40	金 度源	伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究－世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として－	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集(59号)	小川和馬、大窪健之、サキヤラタ	7024	
41	金 度源	ホース延長が可能な改良型市民消火栓の配置計画に関する基礎研究 ～模擬初期消火活動の実証実験と京都市清水周辺地域での改善配置計画を目指して～	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	大和田智彦、大窪健之、林倫子	131-138	
42	金 度源	松本城と周辺地域の防災拠点としての能力評価に関する研究－帰宅困難者への支援を想定して－	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	大窪健之、植本幹大	123-130	
43	金 度源	伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究－世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として－	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	小川和馬、大窪健之、サキヤラタ	107-114	
44	金 度源	地域コミュニティにおける水害伝承の実態－滋賀県甲賀市信楽町勅旨区を対象として－	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	林倫子、昌子知正、大窪健之	193-200	
45	金 度源	Dealing with multiple hazards and threats on cultural heritage sites: an assessment of 80 case studies	共著	2019年8月	Disaster Prevention and Management, Emerald Publishing Limited(29 巻 1 号)	Lee Boshier, Takeyuki Okubo, Ksenia Chmutina, Rohit Jigyasu	109-128	
46	小林 泰三	3次元データを活用した盛土の締固め管理手法の検討	単著	2019年8月	JACIC 情報、一般財団法人日本建設情報総合センター、第 120 号、Vol. 34, No.1		39-43	
47	小林 泰三	Effect on prevention of soil outflow on the back of abutment by cement soil stabilization	共著	2019年10月	Proc. of 9th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment (GEOMATE)	Y. Ishida, S. Takayama, Y. Satofuka, and R. Fukagawa		
48	小林 泰三	山間集落における住民参加型斜面計測・モニタリングシステムの構築に関する研究-福井市高須町の事例	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium2019 論文集、地盤工学会関西支部	小山倫史、近藤誠司、芥川真一、佐藤 毅、中田勝行、下嶋一幸		
49	小林 泰三	3次元測量技術を活用した土の締固め管理手法の提案	共著	2019年12月	令和元年「建設施工と建設機械シンポジウム」論文集・梗概集、建設機械施工協会	土佐信一、西川祐矢、池永太一	109-112	
50	桜井 政成	豪雨災害におけるボランティアの動向－	単著	2019年4月	環境技術(48巻4号)		190-194	

		発災からのトレンド分析から一						
51	桜井 政成	サービスラーニングによる地域課題解決への貢献	単著	2019年9月	調査研究情報誌 E C P R (43巻1号)			32-37
52	桜井 政成	Why did the new NPO corporations diffuse? Reason for the increasing social economy organizations in Japan	単著	2019年11月	7th EMES Selected Conference Papers(ESCP-7EMES-15巻)			
53	佐藤 弘隆	京町家の空き家の現状と課題	共著	2019年3月	統計(70巻2号)	矢野桂司		9-15
54	里深 好文	LP データを用いた一次元解析データ作成手法提案—地形形状と溪流幅の影響—	共著	2019年1月	砂防学会誌(71巻5号)	梶山敦司・和田孝志		24-31
55	里深 好文	土砂流入災害をもたらす降雨の空間分布特性と降雨モニタリングに関する研究	共著	2019年3月	土木学会論文集 B1 (水工学)(75巻1号)	森泰樹・佐々木良・藤井昌隆・杉山友康		1-14
56	里深 好文	線路への小規模土砂流入の危険度評価手法に関する研究	共著	2019年3月	土木学会論文集 B1 (水工学)(75巻1号)	森泰樹・藤井昌隆・杉山友康		31-48
57	里深 好文	噴火後20年を経過した雲仙普賢岳の火砕流堆積斜面における土石流発生を助長する地形・地質的条件	共著	2019年5月	砂防学会誌(72巻1号)	平川泰之・岡野和行・植野利康・堤大三・宮田秀介		21-31
58	里深 好文	雲仙普賢岳・炭酸谷における土石流発生源への降雨流出応答	共著	2019年9月	砂防学会誌(72巻3号)	平川泰之・岡野和行・武石久佳・植野利康		19-26
59	里深 好文	土砂災害警戒区域内の住宅地における土石流の危険度分布の検討	共著	2019年11月	土木学会論文集 B1 (水工学)(75巻2号)	長谷川祐治・中谷加奈・海堀正博		I_181-I_186
60	里深 好文	進行性崩壊による天然ダム決壊過程に関する現地実験	共著	2019年11月	土木学会論文集 B1 (水工学)(75巻2号)	高山翔揮・星山博紀・宮田秀介・藤本将光		I_847-I_852
61	鈴木 祥之	木材載荷ブロックを用いた伝統木造 T 字型仕口の回転めり込み特性と定式化	共著	2019年2月	日本建築学会構造系論文集(84巻756号)	棚橋秀光		227-236
62	鈴木 祥之	伝統構法木造～耐震設計・耐震補強設計～	単著	2019年2月	建築と社会(100巻1163号)			46-47
63	鈴木 祥之	石場建てを含む伝統的構法木造建築物の耐震設計法・耐震補強設計法	単著	2019年5月	伝木(39巻)			3-7
64	鈴木 祥之	壁土の強度試験法の開発と壁土の強度特性	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	山田耕司、中治弘行、後藤正美		61-68
65	鈴木 祥之	土塗り壁の耐力を用いた土塗り小壁の骨格曲線の再評価	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	山田耕司、中治弘行、長瀬 正		209-214
66	鈴木 祥之	伝統木造仕口の回転めり込み反力分布についての考察	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	棚橋秀光		83-90
67	鈴木 祥之	3次元立体解析モデルを用いた旧加悦町役場庁舎の耐震性能評価に関する研究	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	浅野陽彦、吉富信太、中治弘行、須田 達、向坊恭介、佐藤英佑		15-22

68	鈴木 祥之	与謝野町旧加悦町役場の基礎と外壁の実地調査と材料試験	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	須田 達、浦 憲親	69-76	
69	高橋 学	環境史・土地開発史・災害史からみた災害発生メカニズム	単著	2019年	環太平洋文明研究3		1-22	
70	高橋 学	遺跡立地分析のための地形分類図の限界	単著	2019年	考古学ジャーナル 723		巻頭言	
71	高橋 学	環境史からみた島嶼の災害リスクマネージメント	単著	2019年	月刊地球 482、海洋出版		644-651	
72	豊田 祐輔	PBL型短期間国際ワークショップによる社会人基礎力成長モデルに関する研究	単著	2019年3月	地域情報研究-立命館大学地域情報研究所紀要(8号)		98-109	
73	豊田 祐輔	Integration Process of Indigenous and Scientific Knowledge for Disaster Risk Reduction in Mentawai Island	共著	2019年7月	International Journal of Disaster Management(2巻1号)	Zulfadrim and Kanegae Hidehiko	1-12	
74	豊田 祐輔	A Framework of Simulation and Gaming for Enhancing Community Resilience against Large-scale Earthquakes: Application for Achievements in Japan	単著	2020年1月	Simulation & Gaming(forthcoming 巻)		(Online First, 32p)	
75	豊田 祐輔	Analysis of Technology Impact on Culture in Indigenous Community: Case Study of Mentawai Island	共著	2020年	Selected Paper of the 2nd South East Asian Academic Forum on Sustainable Development (SEA-AFSID) 2018	Zulfadrim and Kanegae Hidehiko	forthcoming	
76	仲谷 善雄	Validated Animated Pictograms for the Advance Design of a Disaster Assistance Application	共著	2019年2月	IEEJ Transactions on Electronics, Information and Systems(139巻2号)	Luis Ernesto Dominguez-Rios, Tomoko Izumi and Takayoshi Kitamura	170-179	
77	仲谷 善雄	Evaluation of the Aid Link Generation System for a Disaster Management Platform	共著	2019年3月	IEEJ Transactions on Electronics, Information and Systems(139巻3号)	Luis Ernesto Dominguez-Rios, Tomoko Izumi and Takayoshi Kitamura	247-258	
78	仲谷 善雄	児童を対象とした振動型経路指示システムにおける振動角度と有用性の評価	共著	2019年5月	ヒューマンインタフェース学会論文誌(21巻2号)	安井友徳、北村尊義、泉朋子	33-44	
79	狭間 恵三子	新たな歴史文化都市・堺を目指して	共著	2019年11月	一般財団法人日本地域開発センター、『地域開発』, 通巻631号	梅原利之	pp.30-34	
80	花岡 和聖	『歴史地名辞書データ』を用いた集落地名の地域性の可視化	単著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)		185-192	
81	花岡 和聖	近年のオーストラリアにおける新規流入移民の居住地分布—オーストラリアの国	単著	2020年3月	立命館文學			

		勢調査資料を用いた分析一						
82	平尾 和洋	京都市正親学区の事前復興計画を想定した建築物の類型化及び延焼シミュレーションと防火連担長屋の提案	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(vol.13巻)	小玉寧人	115-122	
83	平尾 和洋	京都市西陣地区の事前復興計画を想定した街並みエレメント選定及びそれを用いた街並み構成法の比較	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(報告)(vol.13巻)	遠藤直久,西村祐香	215-222	
84	深川 良一	Consideration of issues and solutions related to the coexistence of cultural properties and the real life of the neighborhood	共著	2019年5月	Emerald insight, Disaster Prevention and Management, Vol. 29, No. 1.	Yuko Ishida · Downon Kim · Tatsuo Konegawa	pp. 86-108	
85	深川 良一	Liquefaction analysis of verification on the influence of underground structure	共著	2019年6月	Int. J. of GEOMATE, Vol.16, Issue 58	Keita Sugito and Tetsuya Okano	pp.104-109	
86	深川 良一	Calculation formula for pullout resistance exerted by open-wing-type ground anchor	共著	2019年6月	Int. J. of GEOMATE, Vol.16, Issue 58	Kota Kono and Akihisa Nakahashi	pp.110-115	
87	深川 良一	Investigation of cylindrical specimen collapse behavior on the experiment and 3D smoothed-particle hydrodynamic analysis	共著	2019年6月	Int. J. of GEOMATE, Vol.16, Issue 58	Tetsuya Okano, Yukiko Sumi and Tsutomu Matsuo	pp.117-122	
88	深川 良一	熊野参詣道伊勢路「横垣峠」を対象とした観光防災マップの作製	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集[報告]、Vol.13	石田優子、今村聡、古根川竜夫、中谷友樹	pp.245-252	
89	深川 良一	Effect of prevention of soil outflow on the back of abutment by cement soil stabilization,	共著	2019年11月	Proc. of the 9th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida, Shoki Takayama, Kazuyuki Izuno, Yoshifumi Satofuka and Taizo Kobayashi	pp.1-7	
90	深川 良一	拡翼アンカー工法の開発に関する基礎的研究	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium 2019論文集, (公社)地盤工学会関西支部	部谷遼平、河野恒太、灘とも子、小林泰三	4頁	
91	福水 洋平	Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area	共著	2019年1月	Proceedings of 4th International Conference of Multimedia and Image Processing	S.Hamdan, T.Izumi, and H.Yamauchi	184-190	
92	福水 洋平	Illuminance-robust semipermanent 2D porous code	共著	2019年1月	Proceedings of International Conference on Electronics, Information, and Communication	K.Kimura, A.Ohashi, T.Douseki		
93	福水 洋平	Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction	共著	2019年3月	Proceedings of 3rd International Conference on Frontiers of Image Processing	S.Hamdan, T.Izumi, and H.Yamauchi		

94	福水 洋平	Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction	共著	2019年3月	Journal of Image and Graphics(7巻1号)	Suhail Hamdan, Tomonori Izumi, Hironori Yamauchi	9-17	
95	福山 智子	Basic Study on Corrosion Progression in High Nickel Weathering Steel by Simulated Liquid Test	共著	2019年7月	日本コンクリート工学会年次論文集	Emel Ken BENITO, 上野敦		
96	福山 智子	断面修復コンクリートにおける水分移動に関する実験的研究	共著	2019年7月	日本コンクリート工学会年次論文集	金倫美, 千歩修, 谷口誠		
97	藤井 健史	丸亀城の天守および石垣の見え方に関する定量的分析: 景観的被害を加味した文化財防災の検討に向けて	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	藤井英美佳	139-146	
98	藤井 健史	駅から街に出る際のシークエンス景観における景観構成要素の可視率と開放度に関する研究	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集	東山昂平	298-301	
99	藤井 健史	GPGPUを用いた交差判定式全方位可視率計算の超高速化・緑視率計算と植栽計画指標検討への応用	共著	掲載決定	日本建築学会技術報告集(巻未定)	山田悟史		
100	藤本 将光	斜面基礎補強時における網状鉄筋工の有効的な設置方法に関する基礎的研究	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium 2019論文集	原田紹臣, 山本和輝, 高瀬蔵, 玉木健太, 小西成治, 疋田信晴		
101	藤本 将光	連続雨量に基づく通行規制・解除基準と土壌雨量指数によるその比較	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium 2019論文集	小田和広, 鳥居宣之, 小山倫史, 小泉圭吾		
102	藤本 将光	現地モニタリング結果を用いた土砂災害危険度評価に関する研究	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium 2019論文集	館野祐一郎, 小山倫史, 鏡原聖史, 鳥居宣之		
103	藤本 将光	細粒土砂の移動を考慮した急傾斜地崩壊防止施設に関する研究	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium 2019論文集	原田紹臣, 小西成治, 河野和人, 水山高久		
104	宗本 晋作	HAN'S VILLA	共著	2019年10月	Architecture&Culture 461	SMA Korea +CTA(Local Architect)	pp.52-57	
105	宗本 晋作	移動コストを考慮した街路ネットワークの媒介中心性分析	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム	北本英里子・山田悟史・及川清昭	6頁	
106	村中 亮夫	自助・共助のための防災マップ作成ワークショップの実践と課題—北海道石狩市における水害・土砂災害を事例として—	共著	2019年7月	地理科学(74巻2号)	浅妻裕・谷端郷・米島万有子・高橋伸幸	70-89	
107	村中 亮夫	Strengths of Exaggerated Tsunami- Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast, Japan	共著	2019年9月	ISPRS International Journal of Geo-Information(8巻10号)	Yuzuru Isoda, Go Tanibata, Kazumasa Hanaoka, Junzo Ohmura and Akihiro Tsukamoto	18 pages (Open Access Journal)	

108	持田 泰秀	DEVELOPMENT OF CARBON FIBER REINFORCED THERMOPLASTIC STRAND ROD	共著	2019 年 4 月	International Journal of GEOMATE(16 卷 57 号)	Yasuhide Mochida, Yusuke Imoto	109-115	
109	持田 泰秀	文化遺産の免震レトロフィット化に関する研究：仮受け鋼管杭を用いる工事の工程管理について	共著	2019 年 7 月	歴史都市防災論文集(13 号)	伊原 大貴, 持田 泰秀, 包 学文	1-6	
110	持田 泰秀	日本のプレキャストコンクリートの普及に関する研究 - 日本の集合住宅や韓国・アメリカの現状を通して -	共著	2019 年 7 月	第 35 回建築生産シンポジウム	伊原大貴, 持田泰秀		
111	持田 泰秀	STUDY ON STRENGTH ESTIMATION OF SOIL CEMENT USED IN THE EMBEDDED PILE METHOD BY ELECTRICAL RESISTIVITY MEASUREMENT	共著	2019 年 8 月	International Journal of GEOMATE(17 卷 59 号)	Yasuhide Mochida, Masato Matsuura	74-81	
112	持田 泰秀	緊張力を導入する建築物の構造上の有効性に関する研究 - 熱可塑性樹脂を用いた炭素繊維複合材の活用 -	共著	2019 年 11 月	第 13 回復合・合成構造の活用に関するシンポジウム	北川貴大, 持田泰秀, 櫻井祥人		
113	矢野 桂司	京町家の空き家の現状と課題	共著	2019 年 3 月	統計(70 卷 2 号)	佐藤弘隆	9-15	
114	矢野 桂司	はいめに 特集 地理総合と歴史総合 - 何が変わるのか、どう向き合うのか -	単著	2019 年 11 月	学術の動向(11 号)			
115	矢野 桂司	Japanese Lexical Variation Explained by Historical Contact Patterns	共著	2019 年	ISPRS International Journal of Geo-Information(8 卷 9 号)	Péter Jeszenszky, Yoshinobu Hikosaka, Satoshi Imamura		
116	矢野 桂司	Transparent Collision Visualization of Point Clouds Acquired by Laser Scanning	共著	2019 年	ISPRS International Journal of Geo-Information(8 卷 9 号)	Authors: Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Motoaki Adachi, Satoshi Tanaka		
117	矢野 桂司	地理教育とGIS	単著	2019 年	東海地理(56 卷)		1-6	
118	矢野 桂司	書評: スマホと PC で見る はじめての GIS-「地理総合」で GIS をどう使うか- 時枝 稜・木村圭司 著	単著	2019 年	地図情報(39 卷 3 号)			
119	矢野 桂司	【書評】平井 松午 / 編『近世城下絵図の景観分析・GIS 分析』古今書院	単著	2019 年	GIS-理論と応用(27 卷 1 号)		56-58	

120	山田 悟史	A study on the formation of environmental recognition by dwelling unit location and residential floor in collective housing in a super-high-rise building	共著	2019年3月	Japan Architectural Review(2巻1号)	Shichun Zong, Hiroতোমo Ohuchi, Toshihiro Kimura		
121	山田 悟史	Deep Learning を用いた印象評価推定 AI の作成と検証 —街並み画像の街路名と訪問意欲を対象に—	共著	2019年5月	日本建築学会 計画系論文集 (84巻759号)	大野耕太郎	1323-1331	
122	山田 悟史	移動コストを考慮した街路ネットワークの媒介中心性分析	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集	北本英里子・宗本晋作・及川清昭	掲載決定	
123	山田 悟史	移動コストを考慮した街路ネットワークの媒介中心性分析	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 論文 pp.114-117,2019.12, 日本建築学会	北本英里子, 宗本晋作, 及川清昭		
124	吉富 信太	Stiffness and damping identification for asymmetric building frame with in-plane flexible floors	共	2019.9	Frontiers in Built Environment (Specialty Section: Earthquake Engineering)(5巻103号)	K.Shintani, K.Fujita and I.Takewaki	pp.1-15	
125	吉富 信太	複数建物の微動計測データ群を用いた汎用的逆解析アプローチによる非構造部材の影響を考慮可能な新築建物の層剛性推定法	共	2019.5	日本建築学会構造系論文集 (84巻759号)	佐田貴浩, 岸本和貴, 谷慎太郎, 津田慎太郎	pp.609-616	
126	吉富 信太	振動計測に基づく伝統木造建物の部位別剛性及び質量の推定法	共	2019.7	歴史都市防災論文集, Vol.13	佐々木俊彰, 田淵敦士, 瀧野敦夫	pp.31-38	
127	吉富 信太	3次元立体解析モデルを用いた旧加悦町役場庁舎の耐震性能評価に関する研究	共	2019.7	歴史都市防災論文集, Vol.13	浅野陽彦, 中治弘行, 須田達, 向坊恭介, 佐藤英佑, 鈴木祥之	pp.15-22	
128	石田 優子	マップコンテストによる子どもの防災・防犯・交通安全教育への取り組みの成果と課題——「第12回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告——	共著	2019年3月	立命館大学歴史都市防災研究所、京都歴史災害研究、第20号	谷端郷・酒井宏平	pp.35-41	
129	石田 優子	Consideration of issues and solutions related to the coexistence of cultural properties and the real life of the neighborhood	共著	2019年5月	Emerald insight, Disaster Prevention and Management, Vol. 29, No. 1.	Dowon Kim ・ Tatsuo Konegawa ・ Ryoichi Fukagawa	pp. 86-108	
130	石田 優子	熊野参詣道伊勢路「横垣峠」を対象とした観光防災マップの作製	共著	2019年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集、Voi.13	今村聡・古根川竜夫・深川良一・中谷友樹	pp.245-252	

131	石田 優子	斜面多点監視を可能にする省電力低価格な傾斜感知器の開発	共著	2019 年 7 月	公益社団法人地盤工学会、第 54 回地盤工学研究発表会概要集	平岡伸隆・繁田知美・深川良一	pp.1971-1972	
132	石田 優子	下層風が微地形の降雨特性に及ぼす影響—二重県熊野市清水谷において—	共著	2019 年 8 月	公益社団法人地すべり学会、第 58 回日本地すべり学会研究発表会講演集	酒井俊典・西井和晃・岡島賢二・玉置康大・石川昌幹・後誠介・古根川竜夫・由井恒彦・阪口和之・片岡泰・長谷川謙二	pp.117-118	
133	石田 優子	Effect of cement soil stabilization on the prevention of soil outflow from back of the bridge abutment	共著	2019 年 11 月	Proceedings of the 9th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Shoki Takayama・Kazuyuki Izuno・Yoshifumi Satofuka・Taizo Kobayashi・Ryoichi Fukagawa	pp.320-325	
134	石田 優子	セメント系固着材を用いた橋台背面流出防止対策に関する実験的研究	共著	2019 年 11 月	第 38 回日本自然災害学会学術講演会講演概要集	田崎裕貴・高山翔貴・里深好文・伊津野和行	pp.179-180	
135	石田 優子	安全安心マップ作成を通じた小学生親子の防災力向上と課題—「第 13 回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告—	共著	2020 年 3 月	立命館大学歴史都市防災研究所、京都歴史災害研究、第 21 号	酒井宏平・村中亮夫		
136	石田 優子	Prevention of soil outflow from the ground around bridge abutment using cement soil stabilization	共著		Journal of GEOMATE	Shoki Takayama・Kazuyuki Izuno・Yoshifumi Satofuka・Taizo Kobayashi・Ryoichi Fukagawa		
137	大橋 弘明	Suburban fortunes: outer suburban decline and balkanization in Tokyo Metropolis	共著	Under revision (1st revised version submitted)	Urban Studies	Phelps, N. A.		
138	大橋 弘明	Diversity in decline: the changing suburban fortunes of Tokyo Metropolis	共著	Under revision (2nd revised version submitted)	Cities	Phelps, N. A.		
139	酒井 宏平	マップコンテストによる子どもの防災・防犯・交通安全教育への取り組みの成果と課題：「第 12 回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告	共著	2019 年 3 月	京都歴史災害研究(20 巻)	谷端 郷, 石田 優子		
140	酒井 宏平	Mitigating Simultaneous Returning Home after Large-Scale Earthquakes: Changing Tourists'	共著	2019 年 12 月	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science(361 巻)	Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae		

		Intentions to Stay through Public Support						
--	--	---	--	--	--	--	--	--

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	青柳 憲昌	「法隆寺昭和の大修理による金堂壁画 防災対策と収蔵庫建築」	2019年1月	立命館大学歴史都市防災研究所定 例研究会	単著
2	青柳 憲昌	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会ア ーカイブWG 中間報告」	2019年1月	第4回法隆寺金堂壁画保存活用委 員会ワーキング・グループ(第4 回)全体会合/法隆寺金堂壁画保 存活用委員会(第5回)	単著
3	青柳 憲昌	「中間報告(アーカイブWG)」	2019年2月	「—法隆寺シンポジウム—法隆寺 金堂壁画、未来へ」	単著
4	泉 知論	Improved Face Image Super- resolution with Restricted Patch- searching Area	2019年1月	4th International Conference on Multimedia and Image Processing (ICMIP2019), 6- A0007, pp.29-35	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, and Hironori Yamauchi
5	泉 知論	FPGA ベース AI システムの開発	2019年1月	第3回 VLSI センターシンポジウ ム	単著
6	泉 知論	野生動物自動認識のためのデータベ ースの構築と深層学習の試行	2019年3月	画像電子学会 第288回研究会予 稿 18-03-12, pp.66-71	宮下洸大, 初田慎弥, 孟林
7	泉 知論	土地利用別面積推定のための地図の 自動領域分類手法	2019年3月	画像電子学会 第288回研究会予 稿 18-03-13, pp.72-78	高須柁樹, 渡邊清威, 孟林
8	泉 知論	甲骨拓本からの自動文字抽出手法と 支援環境	2019年3月	画像電子学会 第288回研究会予 稿 18-03-14, pp.79-84	渡邊清威, 孟林
9	泉 知論	モンテカルロ法に基づいた駒属性推 定によるガイスターゲームAI	2019年3月	the 3rd Game AI Tournament (GAT2019)	園田夕莉
10	泉 知論	a Platform of Micro UGV for Small Scale Autonomous Driving System Using SoC FPGA	2019年6月	10th International Symposium on Highly Efficient Accelerators and Reconfigurable Technologies (HEART2019)	Yuya Kudo, Atsushi Takada, Takumi Sakai
11	泉 知論	SoC FPGA による小型自律走行車の 位置推定と経路計画の試行	2019年9月	電子情報通信学会 技術研究報告, vol.119, no.208, RECONF2019- 24, pp.19-24	工藤裕也, 高田厚志
12	泉 知論	An SoC-FPGA-Based Micro UGV with Localization and Motion Planning	2019年12月	2019 International Conference on Field-Programmable Technology (FPT'19), pp.469- 472, DOI 10.1109/FPT.2019.00095	Yuya Kudo, Atsushi Takada, Yuta Ishida
13	宇佐美 智之	ウズベキスタン、カフィル・カラ遺跡 の発掘調査(2018年): シタデルを覆 う火災層の調査	2019年3月	第26回西アジア発掘調査報告会	村上 智見、ベグマトフ アリシ ェル、ベルディムロドフ アムリ ディン、ボゴモロフ ゲンナデー ー、寺村 裕史、宇野 隆夫
14	小川 圭一	CVM を用いた金沢市内の文化遺産の 防災対策に対する支払意思額に関す る分析	2019年7月	第13回歴史都市防災シンポジウ ム	谷本雄太郎
15	鐘ヶ江 秀彦	A Study on Evacuation Method Using Agent Simulation Based on Tourists' Behavioral intention	2019年7月	Silk Cities 2019	Kohei Sakai
16	鐘ヶ江 秀彦	訪日外国人観光客の防災意識に関す る研究: 京都市を事例に	2019年9月	日本地域学会	酒井宏平
17	鐘ヶ江 秀彦	先端技術が風土化した将来社会にお ける地域防災	2019年9月	日本地域学会	小野聡、清水泰有、能澤輝一、 寺田匡宏
18	鐘ヶ江 秀彦	SDGs の目標達成のために近未来へ 向けて大学が貢献できることは何か	2019年9月	日本地域学会	単著
19	鐘ヶ江 秀彦	個人の地域防災行動意図における社 会的な手抜きの特徴に関する研究 -個人の地域防災組織に対する信頼に 着目して	2019年9月	日本地域学会	留野僚也、豊田祐輔
20	川崎 佑磨	線源棒先端の空間が RI 法で推定した 空隙率に与える影響	2019年5月	2019年度土木学会関西支部年次 学術講演会	白川裕太、王子哲、山田悠二

21	川崎 佑磨	電気化学ノイズ測定によるコンクリート中の鉄筋の腐食開始検出	2019年9月	2019年度日本建築学会大会学術講演会	池沢樹、金侖美、福山智子、康田雄太
22	河角 直美	近代京都における主要商店街の店舗復原—《祇園町》を事例とした方法の検討	2019年11月	2019年人文地理学会大会	加藤政洋
23	河角 直美	Digital archiving the space and memory of Kyoto across space and time using GIS	2019年7月	The 29th International Cartographic Conference and 18th General Assembly	Hiroataka SATO, Shunpei YAMAMOTO and Keiji YANO
24	河角 直美	Possibilities of the Spatial Humanities by Digital- archiving Old Photographs by using GIS	2019年6月	Freie Universität Berlin - Kobe University - Ritsumeikan University Joint Workshop on 'Landscape and New Media in Art, Film and Theatre'	Hiroataka Sato, Masahiro Kato, and Keiji Yano
25	金 度源	UNDERSTANDING AND COMMUNICATING RISK TO CULTURAL HERITAGE THROUGH A DISASTER IMAGINATION GAME	2019年1月	SEAMEO-SPAPA, Workshop for Brunei	
26	金 度源	歴史都市より学ぶ消防対策と防災計画：伝統的な減災の知恵と住民参加型消防計画の評価	2019年2月	韓国国立文化財研究所特別セミナー	
27	金 度源	UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management International Training Course (ITC) on Ritsumeikan University: Integrated Protection of Movable and Immovable Cultural Heritage from Disasters	2019年3月	4th Global Summit of Research Institutes for Disaster Risk Reduction Kyoto, Japan	
28	金 度源	Capacity of the temples and shrines for using as evacuation places and shelters against the tsunami hazard: the case study for the coastal area of Muroto, Kochi-Prefecture in Japan	2019年10月	ATC19 Workshop for Heritage Geotechnical Engineering	
29	桜井 政成	Why Did the New NPO Corporations Diffuse? Reason for the Increasing Social Economy Organizations in Japan	2019年1月	Seoul National University Asia Center Special Lecture	単著
30	桜井 政成	災害ボランティアセンターにおける需給調整課題—大阪北部地震における茨木市議事例—	2019年3月	第5回 震災問題研究交流会	佐村河内力
31	桜井 政成	Are disaster volunteers insufficient? An analysis of the volunteer coordination cases of flood disaster affected areas in Japan	2019年7月	ISTR Asia - Pacific Regional Conference	単著
32	桜井 政成	Why did the new NPO corporations diffuse? Reason for the increasing social economy organizations in Japan	2019年7月	7th EMES International Research Conference on Social Enterprise	単著
33	桜井 政成	サービスマーケティングが地域にもたらす効果：文献レビューによるモデル化	2019年11月	日本福祉教育・ボランティア学習学会 第25回大会	単著
34	佐藤 弘隆	近代京都における借家実態と祭礼運営—祇園祭の山鉾町を事例に—	2019年3月	日本地理学会 2019年春季学術大会	単著
35	佐藤 弘隆	Giga-pixel multispectral imaging using commercially available digital camera	2019年9月	ICOM international committee for DOCUMENTATION 2019	Masaru Tsuchida, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, and Keiji Yano
36	佐藤 弘隆	High resolution image retrieval, browsing and visual guide system for museum using smartphone	2019年9月	ICOM international committee for DOCUMENTATION 2019	Masaru Tsuchida, Satoshi Imamura, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, and Keiji Yano
37	佐藤 弘隆	城下町祭礼を支える現代都市の機能—愛知県犬山市を事例に—	2019年11月	2019年人文地理学会大会	単著
38	里深 好文	SLOPE FAILURE RISK ASSESSMENT MODELING USING TOPOGRAPHIC DATA AND NUMERICAL	2019年6月	ISPRS Annals of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	Taiki Mori, Tomoyasu Sugiyama, Ikuya Hosooka, Makoto Nakata, Kazuyuki Okano

		CALCULATION OF SOIL CONSERVATION BY TREE ROOT SYSTEMS			
39	里深 好文	Slope Failure risk assessment modeling using topographic data and numerical calculation of soil conservation by tree root systems	2019年6月	ISPRS Annals of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	Taiki Mori, Tomoyasu Sugiyama, Ikuya Hosooka, Makoto Nakata, Kazuyuki Okano
40	里深 好文	Woody debris blocking conditions at bridges in mountainous streams	2019年6月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Hasegawa, Y., Nakatani, K.
41	里深 好文	Flume experiment on the influence of particle size distribution on sediment capturing efficiency of open-type steel Sabo dams	2019年6月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Matsumoto, N., Uchida, T., Sakurai, W., Matsubara, T., Okuyama, R., Hina, J.
42	里深 好文	Debris-flow behavior containing fine sediment considering phase shift	2019年6月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Nakatani, K., Hasegawa, Y., Asano, Y.
43	里深 好文	Numerical simulation for evaluating the phase-shift on fine sediment in stony debris flows	2019年6月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Uchida, T., Nishiguchi, Y., McArdeell, B.
44	里深 好文	Steel stakes to capture debris-wood on an impermeable type sabo dam	2019年6月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Harada, N.
45	高橋 学	環境考古学からみた荒尾南遺跡	2020年1月	荒尾南遺跡研究会、大垣市ストピア	単著
46	高橋 学	荒尾南遺跡からみた災害史	2020年2月	考古学研究会東海例会、大垣市文化ホール	単著
47	武田 史朗	公園デザイン様式「ストックホルムスタイル」の特徴と確立の経緯	2019年	2019年度日本建築学会 近畿支部研究発表会	村田明子
48	武田 史朗	農とレクリエーションを取り入れたエコロジカルインフラストラクチャの提案 亀岡市における流域空間デザイン	2019年9月	2019年度 日本建築学会大会(北陸) (デザイン発表会)	松田麗央, ウェンティン安, 村田明子
49	武田 史朗	自転車交通空間の再編による居場所としての駅空間の計画 淡路駅および周辺地域を対象として	2019年9月	2019年度 日本建築学会大会(北陸) (デザイン発表会)	村田優美子・村田明子
50	武田 史朗	東山慈照寺庭園における遮蔽縁分析をとおした展示空間設計手法の提案	2019年9月	2019年度 日本建築学会大会(北陸) (デザイン発表会)	山中梢子・村田明子
51	武田 史朗	公民学間連携施設によるびわこ文化公園都市の再編成	2019年9月	2019年度 日本建築学会大会(北陸) (デザイン発表会)	松宮周平・村田明子
52	豊田 祐輔	地域防災行動促進に向けた避難協力ゲーミングの学習効果に関する研究：被災前後の個人の道具生に着目した防災学習手法の検討	2019年5月	日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2019年春号	留野僚也、清水泰有、小野聡
53	豊田 祐輔	Gaming Simulation for Managing Stranded Persons and Residents around Terminal Stations after Large-Scale Earthquakes	2019年8月	"50th Conference of the International Simulation and Gaming Association"	Sakai Kohei and Kanegae Hidehiko
54	豊田 祐輔	個人の地域防災行動意図における社会的な手抜きの特徴に関する研究 -個人の地域防災組織に対する信頼に着目して	2019年9月	『日本地域学会第57回年次大会学術発表論文集』(Webpage)	留野僚也、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦
55	豊田 祐輔	Gaming Simulation for Community-Based Disaster Risk Reduction: Disaster Education Tool to Increase Earthquake Coping Capacity of School Students in Malaysia	2019年11月	日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2019年秋号、10-17頁	Mohd Hermy bin Abdullah
56	仲谷 善雄	避難行動を誘発するためのモバイル端末上での情報表現に関する検討	2019年3月	情報処理学会第81回全国大会	安井友徳、北村尊
57	仲谷 善雄	マルチタスク作業時の負担軽減に香りが及ぼす影響の検討	2019年3月	情報処理学会第81回全国大会	永山大貴、北村尊義
58	仲谷 善雄	Proposal of Digital Mirror Signage and AR Pictogram for Follow Me Evacuation Guidance	2019年7月	21th International Conference on Human-Computer Interaction. (HCI International 2019)	Takayoshi Kitamura and Kazumi Yasui
59	仲谷 善雄	避難行動を誘発するための災害情報に関するテキスト表現の比較	2019年8月	電気学会第79回情報システム研究会	安井友徳、北村尊義、泉朋子
60	仲谷 善雄	Evaluation of a Vibration-based Route Indication for Children Who	2019年10月	2019 IEEE 8th Global Conference on Consumer	Tomonori Yasui, Takayoshi Kitamura and Tomoko Izumi

		are Not Familiar with Maps		Electronics (IEEE GCCE 2019)	
61	平尾 和洋	デザイン行為におけるヤヌス的思考のカプセル化に着目した発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する省察	2019年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第59号	小林稜治,坂下太一,遠藤直久
62	平尾 和洋	建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その2	2019年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第59号	遠藤直久,奥浩
63	平尾 和洋	建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その1	2019年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第59号	斎藤翔太,奥浩,遠藤直久
64	平尾 和洋	京都市正親学区の事前復興計画を想定した建築物の類型化及び延焼シミュレーションと防火連担長屋の提案	2019年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第59号	田中勇氣,小玉寧人
65	平尾 和洋	京都市西陣地区の事前復興計画を想定した街並みエレメントの選定及びそれを用いた街並み構成の評価	2019年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第59号	内貴美侑,西村祐香,遠藤直久
66	平尾 和洋	建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その2	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	山崎良祐,奥浩,遠藤直久
67	平尾 和洋	建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その1	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	川上樹,奥浩,遠藤直久
68	平尾 和洋	デザイン行為におけるヤヌス的思考のカプセル化に着目した発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する考察	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	山本琴乃,坂下太一,遠藤直久
69	平尾 和洋	京都市西陣地区の事前復興計画を想定した街並みエレメントの選定及びそれを用いた街並み構成の評価	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	三輪晋也,西村裕香,遠藤直久
70	平尾 和洋	京都市正親学区の事前復興計画を想定した建築物の類型化及び延焼シミュレーションと防火連担長屋の提案	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	中村魁,小玉寧人,遠藤直久
71	深川 良一	斜面多点監視を可能にする省電力低価格な傾斜感知器の開発	2019年7月	公益社団法人地盤工学会、第54回地盤工学研究発表会概要集	石田優子・平岡伸隆・繁田知美
72	福水 洋平	Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area	2019年1月	The 4th International Conference on Multimedia and Image Processing	S.Hamdan, T.Izumi, H.Yamauchi
73	福水 洋平	Illuminance-robust semipermanent 2D porous code	2019年1月	International Conference on Electronics, Information, and Communication 2019	K.Kimura, A.Ohashi, T.Douseki
74	福水 洋平	Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction	2019年3月	The 3rd International Conference on Frontiers of Image Processing	S.Hamdan, T.Izumi, H.Yamauchi
75	福山 智子	セルフセンシング構造物への適用を指向したカーボンナノチューブ混和セメントペーストの基礎的物性	2019年9月	日本建築学会年次大会	森井智月, 山田悠二
76	福山 智子	片面吸水凍結融解試験による断面修復コンクリートの付着強度変化	2019年9月	日本建築学会年次大会	金侖美, 千歩修, 谷口誠
77	福山 智子	電気化学ノイズ測定によるコンクリート中の鉄筋の腐食開始検出	2019年9月	日本建築学会年次大会	池沢樹, 金侖美, 康田雄太, 川崎佑磨
78	福山 智子	塩水片面吸水凍結融解試験を行った断面修復コンクリートの修復界面における水分移動性状	2019年9月	日本建築学会年次大会	前中郁哉, 金侖美, 千歩修, 谷口誠
79	福山 智子	プレストレストコンクリートの誘電緩和測定を利用した欠陥の検出に関する電極配置の影響	2019年9月	日本建築学会年次大会	金侖美, 佐光正和, 牛渡裕二, 川瀬良司
80	福山 智子	凍害劣化程度の異なるコンクリートおよび断面修復材の温度変化によるひずみ変化	2019年5月	セメント技術大会	金侖美, 千歩修, 谷口誠
81	藤井 健史	丸亀城周辺街路における天守および石垣の見え方に関する定量的考察	2019年9月	日本建築学会大会(北陸)学術講演会	単著
82	藤井 健史	道端の空奏 ジャズ文化発信のための演奏拠点	2019年9月	日本建築学会大会(北陸)デザイン発表会	原田陽介,及川清昭
83	藤井 健史	境界をほどく器 スポーツ・地域・環境がひとつながりに溶け合うスタジアムパーク	2019年9月	日本建築学会大会(北陸)デザイン発表会	隅谷悠貴

84	藤井 健史	「草津の魅力」を再発見！～草津市内に点在する歴史資産を繋ぐ保存・活用手法の提案～	2019年11月	環びわこ大学・地域コンソーシアム・大学地域交流フェスタ2019	青柳憲昌,及川清昭,草津市教育委員会歴史文化財課
85	藤本 将光	現地モニタリングに基づく事前道路通行規制基準の設定に関する研究	2019年5月	砂防学会研究発表会	館野祐一郎・鏡原聖史・鳥居直之・小山倫史
86	藤本 将光	細粒土砂の流出防止を考慮した急傾斜地崩壊防止施設における擁壁構造の提案	2019年5月	砂防学会研究発表会	原田紹臣・小西成治・河野和人・水山高久
87	藤本 将光	花崗岩山地源流域における流域界を越えた地下水流動の解析	2019年5月	砂防学会研究発表会	正岡直也・小杉賢一朗
88	藤本 将光	清水寺後背斜面における豪雨時の降雨浸透特性に関する研究	2019年5月	砂防学会研究発表会	五井渉太・里深好文
89	藤本 将光	室内実験に基づく斜面形状が崩壊現象に及ぼす影響の検討	2019年5月	砂防学会研究発表会	Qinxin・里深好文
90	藤本 将光	斜面の基礎補強時における網状鉄筋挿入工 (E.P.ルートパイル工) の高度化に関する実験的研究	2019年5月	砂防学会研究発表会	山本和輝・原田紹臣・玉木健太・高瀬蔵・小西成治・疋田信晴・里深好文
91	藤本 将光	急傾斜地における崩土の衝撃力と対策に関する実験的研究	2019年5月	砂防学会研究発表会	高瀬蔵・原田紹臣・山本和輝・玉木健太・小西成治・疋田信晴・里深好文
92	宗本 晋作	注視傾向に基づく点群を用いた街路の色彩の定量分析に関する研究	2019年6月	令和元年度(2019年度)日本建築学会近畿支部研究発表会	藤井理央・山田悟史
93	宗本 晋作	注視傾向に基づく点群を用いた街路の色彩の定量分析に関する研究	2019年9月	2019年度日本建築学会大会学術講演会	藤井理央・山田悟史
94	宗本 晋作	H house	2019年11月	2019 BUGAIK International Architecture Exhibition	単独
95	持田 泰秀	Study on Unit Price of Temporary Supporting Method for Seismic Isolation Retrofit	2019年2月	The International Conference on Engineering and Applied Sciences	Daiki Ihara
96	持田 泰秀	Study on Eco Recycling of Construction Sludge for Production of Improved Soil	2019年6月	The 2019 International Conference on Structure and Civil Engineering Research (ICSCER 2019), Prague- Czech Republic	Joshua O. Ogunbiyi
97	持田 泰秀	重曹添加のセメントミルクのブリーディングと圧縮強度に関する研究ーブリージング低減と電気比抵抗による強度予測ー	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	伊原大貴・松本洋・角田和明
98	持田 泰秀	電気比抵抗調査による流動化処理地盤改良工法における品質管理に関する研究 流動化処理の完了管理値への適用	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	須々田幸治
99	持田 泰秀	プレキャストコンクリートの表層性能に関する実験的研究 その1 表層透気試験の結果について	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	新城智己,坂田博史
100	持田 泰秀	プレキャストコンクリートの表層性能に関する実験的研究 その2 表面吸水試験、電気抵抗率試験の結果について	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	北川貴大,坂田博史
101	持田 泰秀	浮上りを考慮した基礎の設計法に関する研究 一回転角を考慮した略算法 (修正梁理論) の取り組み	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	峯本真,植田謙三
102	持田 泰秀	STUDY ON THE PROPERTIES OF CEMENT MILK ADDED WITH BAKING SODA -COMPRESSION STRENGTH ESTIMATION FROM BLEEDING REDUCTION AND INITIAL ELECTRICAL RESISTIVITY-	2019年11月	The Fifth International Conference on Science, Engineering & Environment, Bangkok	Joshua O. Ogunbiyi, and Makoto Minemoto
103	矢野 桂司	地理教育と GIS	2019年1月	第420回例会	単著
104	矢野 桂司	バーチャル京都から見る三条通の景観変遷	2019年1月	第42回まちカフェ	単著
105	矢野 桂司	Geodesign in depopulation area: Yosano Town, Japan	2019年2月	International Geodesign Collaboration 2019	Kazumasa Hanaoka

106	矢野 桂司	歴史 GIS と新しい地理教育	2019年3月	GIS day in 関西 2019	単著
107	矢野 桂司	Historical paths of contact and isolation explain lexical variation in Japanese dialects	2019年3月	日本地理学会春季学術大会	Péter Jeszenszky*, Yoshinobu Hikosaka
108	矢野 桂司	公開シンポジウム「地理総合」で何がかわるか	2019年3月	公開シンポジウム「地理総合」で何がかわるか	井田仁康・秋本弘章・浅川俊夫・久保純子
109	矢野 桂司	地方自治体は地理空間情報の宝庫：産官学連携の連携方法	2019年7月	PasCAL ユーザー会 In 関西テーマ「空間情報の流通による行政の新たな役割～働き方改革の実現に向けて～」	単著
110	矢野 桂司	Japanese Map Warper for Spatial Humanities: The Japanese old maps portal site	2019年7月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Satoshi Imamura, Ryo Kamata
111	矢野 桂司	Digital archiving the space and memory of Kyoto across space and time using GIS	2019年7月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Naomi Kawasumi, Hiroataka Sato, Shunpei Yamamoto
112	矢野 桂司	Lexical variation in Japanese dialects revisited: Geostatistic and dialectometric analysis	2019年7月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Péter Jeszenszky, Yoshinobu Hikosaka
113	矢野 桂司	Learning Method that Facilitates User Understanding of Changes in the Kyoto Townscape: Utilizing a Smartphone Application with the Kyoto City Tram and Bus Photograph Database	2019年7月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Akira Takahashi, Shunpei Yamamoto, Hiroataka Sato, Naomi Kawasumi, Manabu Inoue, Asanobu Kitamoto
114	矢野 桂司	Giga-pixel multispectral imaging using commercially available digital camera	2019年9月	ICOM Kyoto 2019	Masaru Tsuchida, Hiroataka Sato, Takahito Kawanishi, and Kunio Kashino
115	矢野 桂司	High resolution image retrieval, browsing and visual guide system for museum using smartphone	2019年9月	ICOM Kyoto 2019	Masaru Tsuchida, Hiroataka Sato, Satoshi Imamura, Takahito Kawanishi, and Kunio Kashino
116	矢野 桂司	日本の古地図のポータルサイトの構築	2019年9月	地図展 2019 京都「近代京都 150 年を俯瞰する」	単著
117	矢野 桂司	京都地籍図データベースを用いた明治末期土地所有者の点分布分析	2019年10月	第28回第28回学術研究発表大会	青木和人・武田幸司
118	矢野 桂司	日本の古地図のポータルサイトの構築	2019年10月	第28回第28回学術研究発表大会	今村聡・鎌田遼
119	矢野 桂司	Visual Plant Simulation based on Transparent Collision Visualization of 3D Scanned Point Clouds	2019年11月	The 38th JSST Annual International Conference on Simulation Technology	Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Satoshi Tanaka and Motoaki Adachi
120	矢野 桂司	人文学における地理空間情報の可視化	2019年12月	じんもんこん 2019 公開シンポジウム 科学的知見の創出に資する可視化 (3) : 新しい文理融合研究を創出する可視化	単著
121	山田 悟史	〇〇を学習した AI が作る〇〇風画像	2019年3月	知的情報処理技術習得セミナー「その4:最適化・エージェント・ニューラルネットワーク入門」2019.3, 日本建築学会 知的情報処理技術応用小委員	単著
122	山田 悟史	デザインする AI, VR 建築理論を目指した基礎研究	2019年3月	関西建築技術研究会 第40回 CAD 情報部会, 2019.3, 関西建築技術研究会	単著
123	山田 悟史	デザインする AI	2019年6月	建築再生展	単著
124	山田 悟史	Deep Learning を用いたデザイン生成 AI の支援による「人と AI の共創」に向けた研究 その1-任意の街並み・建築物の外観を学習して画像を描くデザイン生成 AI-	2019年9月	日本建築学会大会(北陸) 学術講演梗概集(情報システム技術), pp.113-114, 2019.9, 日本建築学会	大野耕太郎

125	山田 悟史	Deep Learning を用いたデザイン生成 AI の支援による「人と AI の共創」に向けた研究 その 2 -任意の建築物の外観のデザインを演算するデザイン生成 AI-	2019 年 9 月	日本建築学会大会(北陸) 学術講演梗概集(情報システム技術),pp.115-116,2019.9,日本建築学会	大野耕太郎
126	山田 悟史	多次元グラフ理論による建築都市の定量把握	2019 年 9 月	日本建築学会大会(北陸) 学術講演梗概集(情報システム技術),pp.65-66,2019.9,日本建築学会	北本英里子, 宗本晋作, 及川清昭
127	山田 悟史	一次救命を実施する非医療従事者の存在確率をふまえた AED の適正配置	2019 年 9 月	日本建築学会大会(北陸) 学術講演梗概集(建築計画),pp.517-516,2019.9,日本建築学会	中島昌暉, 岩田伸一郎, 江川香奈
128	山田 悟史	注視傾向に基づく点群を用いた街路の色彩の定量分析に関する研究	2019 年 9 月	日本建築学会大会(北陸) 学術講演梗概集(建築計画),pp.809-810,2019.9,日本建築学会	藤井理央, 宗本晋作
129	山田 悟史	ヒューマンコンピュータインタラクション技術の建築デザイン分野への応用 -建築分野の手仕事の感覚保存・再現-	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.98-101,2019.12,日本建築学会	小島尚之
130	山田 悟史	現実と VR 空間における高さに対する知覚・印象の比較検証に基づく VR デザイン -VR 建築理論に向けた空間デザインの基礎研究-	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.36-39,2019.12,日本建築学会	村上雅也, 横田芙実子
131	山田 悟史	VR 空間の印象に及ぼす現実空間とのリンクパターン -VR お風呂-	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.32-35,2019.12,日本建築学会	横田芙実子, 村上雅也
132	山田 悟史	ボリュームモデルに任意のデザインソースのデザイン性を反映させるファサードデザイン AI	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.180-183,2019.12,日本建築学会	池之上慎吾, 大野耕太郎
133	山田 悟史	目的に応じたジェネレーティブデザイン AI の体系化	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.184-187,2019.12,日本建築学会	大野耕太郎, 池之上慎吾
134	山田 悟史	非医療従事者の一次救命の不確実性をふまえた AED・サインの適正配置	2019 年 12 月	第 42 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.308-311,2019.12,日本建築学会	中島昌暉, 岩田伸一郎, 江川香奈
135	山本 理佳	旧軍施設の観光化-呉市・佐世保市の事例-	2019 年 6 月	人文地理学会 第 290 回例会(特別例会)「軍都の歴史と地理」(於愛知大学)	山本理佳
136	吉富 信太	柔床仮定下の非構造要素を考慮した初期層剛性の推定法 -複数棟の戸建住宅の設計情報及び微動計測を用いた検討-	2019.6	2019 年度日本建築学会近畿支部研究発表会	谷慎太郎
137	吉富 信太	3 次元立体モデルを用いた伝統木造建物の耐震性能評価に関する研究	2019.9	2019 年度日本建築学会大会(北陸)	浅野陽彦
138	吉富 信太	戸建て住宅の微振動実測データを用いた逆解析による非構造壁を考慮した層剛性推定モデルの構築	2019.9	2019 年度日本建築学会大会(北陸)	単著
139	吉富 信太	振動計測に基づく伝統木造建物の耐震性能評価に関する研究	2019.9	2019 年度日本建築学会大会(北陸)	佐々木俊彰
140	石田 優子	熊野参詣道伊勢路「横垣峠」を対象とした観光防災マップの作製	2019 年 7 月	第 13 回歴史都市防災シンポジウム	単著
141	石田 優子	斜面多点監視を可能にする省電力低価格な傾斜感知器の開発	2019 年 7 月	第 54 回地盤工学研究発表会	単著
142	石田 優子	下層風が微地形の降雨特性に及ぼす影響-二重県熊野市清水谷において-	2019 年 8 月	第 58 回(公社)日本地すべり学会研究発表会	石川昌幹
143	石田 優子	セメント系固化材を用いた橋台背面流出防止対策に関する実験的研究	2019 年 11 月	第 38 回日本自然災害学会学術講演会	単著
144	石田 優子	Effect of cement soil stabilization on the prevention of soil outflow from back of the bridge abutment	2019 年 11 月	9th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	単著

145	石田 優子	Landslide and flood disasters caused by 2019 Typhoon 19 th –Damage situations at Miyagi and Gunma Prefecture–	2019年12月	The 2 nd Joint Workshop on Natural Disasters of Asia and Its Numerical Simulation	単著
146	大橋 弘明	Transit Oriented Development (TOD): Japanese Experiences and Beyond	2019年12月	2nd Collaborative Workshop on Housing and Urban Development in Osaka	単著
147	酒井 宏平	A Study on Evacuation Method Using Agent Simulation Based on Tourists' Behavioral intention	2019年7月	Silk Cities 2019	Hidehiko Kanegae
148	酒井 宏平	訪日外国人観光客の防災意識に関する研究：京都市を事例に	2019年9月	日本地域学会	鐘ヶ江秀彦

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第13回歴史都市防災シンポジウム	衣笠キャンパス	2019年7月	110名	
2	立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修2019	衣笠キャンパス、清水寺、産寧坂、東本願寺、平福、竹田、神戸	2019年9月	招聘研修生8名、自費研修生5名	

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	青柳 憲昌	朝日新聞「収蔵庫に守られ 新たな亀裂なし 総合調査3年 中間報告」朝日新聞（全国版）2019年1月28日19面（誌面にコメント掲載）	朝日新聞（全国版）	2019/01/28-
2	青柳 憲昌	朝日新聞「収蔵庫「大地震耐える」朝日新聞（全国版）2019年1月28日30面（誌面にコメント掲載）	朝日新聞（全国版）	2019/01/28-
3	青柳 憲昌	「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第2回 吉田五十八 ——戦後の『新興数寄屋』 青柳憲昌『ディテール』219号、2019年1月号、彰国社、pp.109-116	ss	2019/01-
4	青柳 憲昌	『奈良ホテル（本館）文化財的価値の調査報告書』西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部企画課・ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社、2019年2月、p.11（建物構造に関する所見掲載）	『奈良ホテル（本館）文化財的価値の調査報告書』	2019/02-
5	青柳 憲昌	朝日新聞「樹脂による硬化 火の影響少なめ」朝日新聞（全国版）2019年3月10日27面（誌面にコメント掲載）	朝日新聞	2019/03/10-
6	青柳 憲昌	「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第3回 吉村順三 ——民家のディテールを再編成する」青柳憲昌『ディテール』（220号）、2019年4月号、彰国社、pp.101-108		2019/04-
7	青柳 憲昌	「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第4回 吉田五十八 RC造にふさわしい『伝統』とは何か」青柳憲昌『ディテール』（221号）2019年6月号、彰国社、pp.101-108	『ディテール』	2019/06-
8	青柳 憲昌	「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第5回 前川國男 テクニカル・アプローチを経由した『伝統』との邂逅」青柳憲昌『ディテール』（222号）2019年9月号、彰国社、pp.121-128	『ディテール』	2019/09-

9	青柳 憲昌	第6回日本建築学会近畿支部建築史部会研究会「近世中・後期寺院建築調査の最新成果」、2019年12月7日、司会として、於・京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス1号館		2019/12/07-
10	大窪 健之	招待講演：地域で取り組む防災まちづくり～歴史的建造物「群」の防災を考える～	出石まちなみ保存会「防災学習会」、出石町役場	2019/1/17-
11	大窪 健之	招待コメンテーター：防災工学（演習）	京都工学院高校3年生クラス	2019/1/25-
12	大窪 健之	講演：西日本豪雨災害による文化遺産被害の緊急報告	日本建築学会・文化遺産災害対策小委員会拡大研究会	2019/1/25-
13	大窪 健之、ほか	招待講演：Exercise of “Disaster Imagination Game (DIG)” ~for Developing the Better Understanding of Disaster Risk Management Plan for Urban Cultural Heritage Complex with Community Participation~	“ School-based Approach in Promoting Disaster Risk Mitigation for Cultural Heritage”、Kampong Ayer, 28 - 31 January 2019, Bandar Seri Begawan, Brunei Darussalam	2019/1/28-2019/1/31
14	大窪 健之	招待講演：木の国における災害の歴史と防災の知恵	住宅研究会主催・連続環境セミナー第2クール、JIA 愛知地域会	2019/5/11-
15	大窪 健之	招待講演：歴史を活かした防災まちづくり	彦根歴史的風致活用実行委員会、芹橋辻番所	2019/7/2、9/7、11/24-
16	大窪 健之	防災ワークショップ運営：歴防 DIG @出石重伝建地区	豊岡市教育委員会、豊岡市出石支所	2019/7/16、23、30
17	大窪 健之	招待講演：災害から文化遺産と地域を守る減災の知恵	2019 年度前期インテリジェントアレー撰壇塾、関西生産性本部・監査経済連合会	2019/7/22-
18	大窪 健之	招待講演：Disaster Mitigation of Urban Cultural Heritage & Case Project in Kiyomizu, Kyoto	2019 年度マレーシア国別研修・MJIT 防災修士コース本邦プログラム、JICA	2019/7/31-
19	大窪 健之	講演：The outline of Fire Water Supply Project for Earthquake Mitigation in Kiyomizu District	ICOM 会議・Disaster Risk Management Session	2019/9/4-
20	大窪 健之	講演：JICA 課題別研修【世界遺産の適切な管理を通じた観光振興】A、B	JICA	2019/10/4、12/5-
21	大窪 健之	講演：インドネシア国家開発企画庁（BAPPENAS）防災研修「歴史都市防災研究所の取り組みと清水周辺地域の防災水利整備プロジェクト」	インドネシア国家開発企画庁（BAPPENAS）	2019/11/25-
22	大窪 健之	講演＋パネルディスカッション：「地域と協働で実施していく防災まちづくり」	和歌山県ヘリテージマネージャー・スキルアップ講習会、和歌山県建築士会館	2019/12/7-
23	大窪 健之	講演：「地域と協働で実施していく防災まちづくり」	あいこうか生涯カレッジ（甲賀市）、立命館大学びわこくさつキャンパス	2019/12/21-
24	伊津野 和行	2017 九州豪雨による橋の被害	立命館大学防災フロンティア研究センター2017 年度第2回セミナー、メルパルク京都、京都市	2017/10/20
25	金 度源	京都市深草学区稲荷学区合同避難時運営訓練		2019/4-2019/12
26	金 度源	防災ワークショップ運営：歴防 DIG @出石重伝建地区	豊岡市教育委員会、豊岡市出石支所	2019/7/1-2019/7/30
27	金 度源	先斗町鍋屋町防災訓練		2020/1-
28	小林 泰三	災害調査報告書：平成30年7月豪雨による地盤災害調査報告書（福井県嶺北地域）	公益社団法人福井県建設技術公社	2019
29	桜井 政成	「災害に特化 NPO 誕生」（インタビュー記事）	毎日新聞（全国版 2面）	2019/1/10-
30	鈴木 祥之	伝統的木造建築物の構造解析とこれからの木造建築の展望＜新たな耐震計算法の解説を中心として＞	東京都角筈区民ホール	2019/6/15-2019/6/15/
31	鈴木 祥之	伝統的構法のための木造耐震設計法出版報告講演会（京都）	キャンパスプラザ京都 第1講義室	2019/8/9-2019/8/9
32	豊田 祐輔	密集市街地における地域防災のすすめ	『豊中市島田公民分館地域出前講座』豊中市共同利用施設島田センター、豊中市	2019/2/24-2019/2/24

33	豊田 祐輔	地域における防災学習への取り組み	『摂津市生涯学習合同研修会』 摂津市	2019/3/4-2019/3/4
34	豊田 祐輔	防災ゲーム～防災について楽しく学ぼう～（大阪府土木事務所共同）	いばらき×立命館 DAY2018（立命館大学主催）	2019/5/19-2019/5/19
35	豊田 祐輔	Challenges of Increasing Disaster Awareness of Foreign Tourists	“ IPRO (Interprofessional Project) 497-313 (course provided by Illinois Institute of Technology ” Ritsumeikan University, Ritsumeikan University, in Osaka	2019/6/11-2019/6/11
36	豊田 祐輔	クロストーク参加	OIC キャンパス事務局『災害に強いキャンパスを創るミニシンポジウム：そなえるキャンパス』、立命館大学大阪いばらきキャンパス、茨木市、大阪	2019/6/18-2019/6/18
37	豊田 祐輔	Academic System Which Links to City Development	Community Organizations Development Institute (CODI) “ Capacity Development Program for Board of Committee and Executive Officials of CODI” Osaka Ibaraki Campus of Ritsumeikan University, Ibaraki City, Osaka	2019/7/15-2019/7/15
38	豊田 祐輔	地震のメカニズムと南海トラフ巨大地震	茨木市市民活動センター『いばらき市民大学 南海トラフ巨大地震：被害想定と対策について』、福祉文化会館（オークシアター）、茨木市、大阪	2019/7/19-2019/7/19
39	豊田 祐輔	立命館大学豊田ゼミでの楽しさと学びを両立させる防災ゲーム作り（ポスター展示）	NPO 法人 ROJE (Renaissance Of Japanese Education)『防災実践交流会 2019・夏-「知る」「学ぶ」からやってみるへ』キャンパスプラザ京都、京都市、京都	2019/8/11-2019/8/11
40	豊田 祐輔	防災の日に知りたい 災害増える日本の“リスク・コミュニケーション不足”問題	shiRUto	2019/8/23-2019/8/23
41	豊田 祐輔	まちの国際化と防災	AsiaWeek 2019（立命館大学主催；参加者：一般市民）立命館大学大阪いばらきキャンパス、日本：大阪	2019/10/13-2019/10/13
42	豊田 祐輔	防災ゲーム	令和元年度第二回潮江東地区連合防災会フェスタ（主催：潮江東地区連合防災会；参加者：一般市民）高知市立潮江東小学校、高知	2019/11/3-2019/11/3
43	豊田 祐輔	防災釣りゲーム	令和元年度東山田地区連合自治会防災訓練（東山田地区連合自治会主催；参加者：地区内住民）吹田市立東山田小学校、大阪	2019/11/24-2019/11/24
44	豊田 祐輔	Evaluating short-term trainings: On how to learn, how to work together and how to apply	“Professional Human Resource Development IV (PHRD-IV) BAPPENAS Short-term Training on Impact Assessment” held by JICE (Japan International Cooperation Center), participated mainly by Indonesian governmental staff, Biwako-Kuwatsu Campus of Ritsumeikan University, Kusatsu City, Shiga	2019/11/25-2019/11/25
45	豊田 祐輔	Community-based Disaster Mitigation	“ Disaster Management Cooperation and Planning Training: The Centre of Planners’ Development, Education and Training (CPDET), National Development Planning Agency (Bappenas) Republic of Indonesia” held by the Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage of Ritsumeikan University, participated mainly by Indonesian governmental staff, Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage of Ritsumeikan University, Kyoto City, Kyoto	2019/11/26-2019/11/26
46	仲谷 善雄	心理を考慮したシステム設計法～認知工学的アプローチ～	ヒューマンインタフェース学会第 10 回特別講演会（同志社大学今出川キャンパス良心館）	2019/2/28-2019/2/28
47	仲谷 善雄	安全へのレジリエンスアプローチ	三菱電機技報、93 巻 7 号	2019/7/20-2019/7/20
48	狭間 恵三子	まちづくりと情報発信	2019自治体学会 堺大会プレ大会基調講演	2019/5/25
49	狭間 恵三子	歴史文化を活かした個性あるまちづくり	奈良ロータリークラブ・奈良大宮ロータリークラブ合同例会	2019/10/10
50	平尾 和洋	心齋橋 阿吽	建築と社会 No.1163	2019/2-
51	藤井 健史	草津いいもの探しツアーを考えよう！～「歩いて巡りたくなる地域の	令和元年度第 6 回アーバンデザインセミナー、アーバンデザインセンターびわこくさつ	2019/9/20

		アイデア」をバス+徒歩で実現可能に		
52	藤井 健史	「くさつ歴史健幸散策」のための路面標示デザインの提案 -草津の歴史に思いを馳せる歩行者ネットワークの形成に向けて-	UDCBK社会実験準備事業	2019/6/21-2020/2/28
53	益田 兼房	文化財と防災,	ヘリテージマネジャー養成講座, 神戸市,京都市,千葉市,	2010-2019
54	益田 兼房	技術発展と日本建築史	日本伝統建築技術保存会木工養成研修講座, 東京都	2007-2019
55	益田 兼房	パリ・ノートルダム大聖堂火災報告	明日の京都文化遺産プラットフォーム・文化遺産危機管理研究会, 京都市	2019/4/23
56	益田 兼房	The SUGIMOTO Residence, Kyoto, Japan, The Heritage, History, Risk Preparedness	ICOM General Conference DEMHIST Meeting, 京都市,	2019/9/5
57	益田 兼房	Authenticity of Cultural Heritage and Disaster Risk Preparedness	2019 International Lectures for Cultural Heritage, 中国科学技術大学,台中市,台湾	2019/10/1
58	益田 兼房	首里城火災と文化遺産の価値・Authenticity とは	明日の京都文化遺産プラットフォーム・文化遺産危機管理研究会, 京都市	2019/11/26
59	宗本 晋作	エコプロ 2019 立命館大学展示会場	東京ビッグサイト	2019/12/5-7
60	石田 優子	小学生を対象とした防災教育コンテンツを作成し、それを用いて防災授業、フィールドワーク、マップ作製講習を実施。	広島県福山市立神村小学校	2019/8-2020/3
61	石田 優子	防災フロンティア研究会 2019 年度シンポジウム「2019 年台風 19 号による豪雨災害の実態を知る」にて講演。タイトル:「立命館大学調査団の現地被災状況報告-群馬県・東京都における被災状況-」	メルパルク京都	2020/1/17
62	石田 優子	滋賀地域地盤研究会にて講演。タイトル:「台風 19 号被害調査報告-宮城県および群馬県の被災実態-」	立命館大学びわこ草津キャンパス	2020/1/23

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	花岡 和聖	日本ヒートアイランド学会	日本ヒートアイランド学会論文賞		2019 年 6 月
2	宗本 晋作	韓国建築家協会	2019 年大韓民国慶尚北道建築大展招待作家賞 (最優秀)	H HOUSE	2019 年 10 月
3	矢野 桂司	地理情報システム学会	2019 年度ポスターセッション賞	青木和人, 矢野桂司, 武田幸司「京都地籍図データベースを用いた明治末期土地所有者の点分布分析」	2019 年 10 月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	矢野 桂司	歴史 GIS によるデジタル・ヒューマニティーズの展開	基盤研究 (A)	2016/04/01	2020/03/01	代表
2	中谷 友樹	多面的な地域特性から見た近隣健康格差とその動態解析	基盤研究 (B)	2015/04/01	2019/03/01	代表
3	伊津野 和行	洪水や土石流に対する橋梁の安全性確保に関する研究	基盤研究 (B)	2017/04/01	2020/03/01	代表
4	大窪 健之	歴史地区を対象とした伝統的減災手法の抽出と科学的検証	基盤研究 (B)	2017/04/01	2020/03/01	代表
5	矢野 桂司	日本古地図ポータルサイトによるデジタル・ヒューマニティーズの推進	挑戦的研究 (開拓)	2017/04/01	2021/03/01	代表
6	金 度源	歴史的な町並みにおけるコミュニティ防災を支援する防災活動データベースの構築	若手研究	2018/04/01	2021/03/01	代表
7	里深 好文	河床変動モデルと斜面崩壊モデルの結合による天然ダム決壊予測手法の開発	基盤研究 (B)	2018/04/01	2021/03/01	代表

8	深川 良一	大規模盛土宅地造成地補強のための拡翼型アンカー工法に関する研究	基盤研究 (C)	2018/04/01	2021/03/01	代表
9	藤本 将光	地盤強度と降雨浸透特性に着目した大規模地震後の降雨による斜面崩壊発生機構の解明	基盤研究 (C)	2018/04/01	2021/03/01	代表
10	宗本 晋作	記憶を取り入れた歴史文化都市のプラットフォームの策定	挑戦的研究(萌芽)	2018/04/01	2021/03/01	代表
11	山田 悟史	非医療従事者の一次救命における不確実性をふまえた AED・サインの適正配置	基盤研究 (C)	2018/04/01	2021/03/01	代表
12	豊田 祐輔	周辺参加住民に着目した包括的地域防災力の向上に関する研究	若手研究	2018/04/01	2021/03/01	代表
13	花岡 和聖	地理的ビッグデータを活用した犯罪理論の実証研究	基盤研究 (C)	2019/04/01	2022/03/01	代表
14	青柳 憲昌		学術図書	2019/04/01	2020/03/01	代表
15	小林 泰三	3次元データの活用による盛土の施工・維持管理技術の高度化と土工 CIM の実装	基盤研究 (C)	2019/04/01	2022/03/01	代表
16	酒井 宏平	エージェントアプローチによる災害時観光客への情報提供手法の構築に関する研究	若手研究	2019/04/01	2022/03/01	代表
17	桜井 政成	地域の「受援力」概念構築と応用可能性に関する総合的研究	挑戦的研究(萌芽)	2018/06/01	2021/03/01	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	酒井 宏平	観光時における自助力向上のためのシミュレーション&ゲーミングに関する研究	科学技術融合振興財団助成	2020年2月	2022年2月	代表
2	大窪 健之	ユネスコ・チェア国際研修『文化遺産と地域防災』による開発途上国人材の育成	平成31(2019)年度 政府開発援助ユネスコ活動費補助金(持続可能な開発目標(SDGs)達成に貢献するユネスコ活動の普及・発展のための交流・協力事業)	2019年3月	2020年2月	代表

9. 知的財産権

No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	大窪 健之	地域防災情報システム・警報システム, 分割特許(2019年7月12日)	共同	共同	2014-005324	6340197	6552677	日本
2	大窪 健之	地域防災情報システム, 分割特許(2019年7月12日)	共同	共同	2014-206759	6325412	6552668	日本
3	深川 良一	弾性体を利用した孔内載荷試験装置					特許第2571419号	
4	藤本 将光	土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同		2015-102216			
5	藤本 将光	透水試験装置および透水試験方法	本学共同		2013-193946			